

全校朝会講話 2020.09.07

皆さんおはようございます。

今日は10月12日、月曜日です。おとといは、10月10日です。何の日か知っていますか。10月10日はもともとスポーツの日です。去年までは体育の日とっていましたが、今年からスポーツの日となりました。そして東京オリンピックをやる予定でしたので、開会式をやる予定だった7月24日

のことですが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、今年の夏にやるはずでしたが、来年に変更になってしまったことは、みなさんも知っていることと思います。

今から56年前の同じ10月10日は第18回オリンピック東京大会の開会式の日でした。その日を記念して、10月10日を体育の日となり、学校もお休みの日でした。来年は東京で行う2回目のオリンピックということで、第32回のオリンピックとなります。

ところで、オリンピックとは何でしょうか。オリンピックは4年に一度開かれる世界一大きなスポーツの大会です。何のためにやるのかというと、スポーツを通して体と心を鍛えようということです。そして、スポーツを通して、世界を平和にしようということです。オリンピックのマークは世界中の国々が一つになろうということにつながっているのです。これは、56年前に東京で行われた時のマークです。下にある五つの輪がつながっています。

東京の前に行ったのが、ブラジルのリオデジャネイロ大会ですが、ここには、207の国と地域から一万人を超える選手が参加をしました。競技種目は306種目。第1回のアテネ大会では、43種目、241人の参加ですから、参加選手がとても多くなっていて、世界の人々が注目をしているスポーツ大会です。オリンピックはテレビでも流れます。ですから、その瞬間は世界中の人が同じものを見て、一つにつながっていることになります。オリンピックは、ほかに障害のある方が行うパラリンピックもあります。今5年生が勉強していると聞いています。ほかの学年の人でも今まで勉強してきたと思いますが、図書館にオリンピックの本がありますから、もう一度、借りて読んでみるといいと思います。今日は10月10日が56年前の東京オリンピックの開会式でオリンピックとは何か、というお話をしました。

これで、校長先生のお話を終わります。